

グリーン交悠録



プロだからこそ、 アマチュア目線で 的確なワンポイント アドバイスを。

本誌主幹

大中吉一

パリハングラ廣濟堂CC

多くの薫陶を受けて頂いた 3人のゴルフの恩人たち

以前にもここでお話しましたが、そもそも私がゴルフを始めるきっかけを作ってくださったのは、かの「時事放談」で知られる細川隆元氏です。『小金井カントリー倶楽部』で年数回、ゴルフの何たるかを教えていただきラウンドしたのを今でも鮮明に覚えています。

2番目の師はテレビ朝日の三浦甲子二専務(当時)でした。三浦氏は、1977年にNHKを出し抜いてモスクワ五輪の独占放送権獲得に成功しました。残念ながらソビエト連邦のアフガニスタン侵攻に抗議するアメリカ合衆国とともに日本が不参加となったことから、とても残念な結果となったのはご記憶にある通りです。しかし、民放でも五輪の独占放送権を獲得することができるといふ実績を作ったことは偉大なことであり、日本のテレビ界に大きな功績を残された方です。

3番目に師と仰ぐのは、株式会社東京スポーツ新聞社代表取締役役会長(当時)の太刀川恒夫氏です。太刀川氏は新聞社のトップでありなが

ら、1975年に北海道の『千歳国際ゴルフコース』の理事長になられ、長らくその経営を指揮されました。太刀川氏には年に数回、北海道に連れて行っていたいただき、素晴らしいゴルフを経験させていただきました。そのポリシーは、地元の皆さんに仲間になっていただき、真のゴルフライフを共に楽しもうというもので、その思いから『千歳国際ゴルフコース』は30年以上変わることなくパブリックであり続けました。2006年に『植苗カントリークラブ』と名を変え、会員制クラブとなり、さらに昨年には『北海道リバーヒルゴルフ倶楽部』に名称変更し、経営も株式会社日商太平となりました。名称は変更されましたが、創設時の太刀川氏の思いが詰まったコースであり、千歳空港からも至近なので、ぜひ一度訪ねてみられることをおすすめします。

この3人の存在が、我がゴルフ交悠録の基盤を作ってくださったことは確かであり、技術だけでなく、ゴルフにおける人とのふれあい、マナーなど、多くの薫陶を受けてくださいました。

廣濟堂ゴルフ場リスト

海外	
イギリス	ロンドン廣濟堂
	HSI
フランス	ビックサクライ
ドイツ	廣濟堂ゴルフベトリーブス
イタリア	廣濟堂ミラノ
米国	シカゴ廣濟堂
	カリフォルニア廣濟堂
オーストラリア	廣濟堂トムソン
中国	北京朝陽ゴルフ倶楽部
インドネシア	バリハンダラ廣濟堂CC
国内	
『千葉廣濟堂カントリー倶楽部』	
『廣濟堂埼玉ゴルフ倶楽部』	
『廣濟堂札幌カントリー倶楽部』	
『札幌トムソンカントリー倶楽部』	
『栃木トムソンナショナルカントリー倶楽部』	
『静岡ザ・ナショナルカントリー倶楽部』	

ボブ・トスキ氏が機内で語った
ゴルフ哲学とアドバイス論

この3人に続くのが、先月にもお話ししました廣濟堂印刷（当時）の桜井義晃社長です。岸信介氏と福田赳夫氏のご紹介による出会いでしたが、それがきっかけで本誌の印刷は廣濟堂にお願ひすることとなり、爾来およそ45年に渡ってお付き合いが続いております。

桜井氏は、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、米国、オーストラリア、中国、インドネシアなど海外のコー

ス（別表参照）のオーナーであり、私も海外に出かける際には大変お世話になり、素晴らしいゴルフライフを満喫させていただきました。

また日本においても名コースをいくつも作りました。『千葉廣濟堂カントリー倶楽部』、『廣濟堂埼玉ゴルフ倶楽部』、『廣濟堂札幌カントリー倶楽部』、『札幌トムソンカントリー倶楽部』、『栃木トムソンナショナルカントリー倶楽部』、そして最後に作ったのが『静岡ザ・ナショナルカントリー倶楽部』です。

この『静岡ザ・ナショナルカントリー倶楽部』は富士山の裾野に位置し、実に雄大なスケールを持つコース

です。そのオープンニングには、元首相の岸信介氏、福田赳夫氏以下「清和政策研究会」の面々と、約40カ国の駐日大使が列席し、素晴らしいプロアマ大会が開催されました。

桜井義晃氏のゴルフ好きは大変なもので、「廣濟堂ゴルフアカデミー」をスタートさせ、米国のトナメント・プロであるボブ・トスキ氏を招聘して「トスキスクール」を開講しました。

この「トスキスクール」は『静岡ザ・ナショナルカントリー倶楽部』に1週間合宿し、連日レッスンを重ね、最終日にはトスキ氏とともにプレーするもので、参加された方たちが、その後素晴らしいゴルフ交悠録を過ごされていることは言うまでもありません。

いつぞや、ボブ・トスキ氏が練習ハウンドに赴く際に、東京の木場から静岡までヘリコプターに同乗させていただき、機中でお話を伺うチャンスがあったのですが、トスキ氏が語ったのは、日本のプロゴルファーたちは、ギャラリとしてスポンサーとして、もっとお客様を大切にすることを



海外における廣濟堂のコース

べきだというお話でした。

トスキ氏のお話には全く同感で、プロアマトーナメントなどで、アマチュアに接する際に、日本のプロはいちどに多くのアドバイスをするために、受け止める側がなしきれないという事態を多く目にします。やはりプロの視線でのアドバイスではなく、アマチュアの視点からの的確なアドバイスが大切なのではないのでしょうか。それぞれのゴルファーに適したアドバイスをし、そのプロなのではないでしょうか。そうした1ポイント、2ポイントのアドバイスでゴルフは大きく上達できるものだと思います。

いよいよゴルフシーズンたけなわです。合宿でスキルを向上させるのもよし。プロアマ大会などでプロからのアドバイスを受けるのもよし。素晴らしいゴルフ交悠録をお過ごしください。